

令和6年度 学校関係者評価及び改善策

(中間・最終)

宮原中学校区 校番 12 学校名 宮原小学校

評価項目	※評価	理由・意見
目標、指標の設定の適切さ	A	・学校教育目標達成に向けて、きちんと目標・指標が設定されている。 ・目標・指標の設定が具体的でわかりやすい。 ・目標値の設定がやや高すぎる。
目標達成のための方策の適切さ	A	・具体的に細かい取組が見え、適切である。 ・色々と検討され、具体的に設定されているように思う。ただ、方策の箇所に目標と方策が一緒に書かれているように感じる。
自己評価の結果と分析の適切さ	A	・目標に対しての結果だけでなく、課題についてもきちんと分析されている。 ・問題点の分析がなされ、今後の取組の方向性が示されている。 ・教師の自己評価がやや低い。
今後の改善策(案)の適切さ	A	・改善策のねらいが明確にされており、今後の取組に期待。 ・課題に対して具体的な改善策が検討されている。 ・細かい所までよく検討されている。
その他		・授業参観ではどの学年も子供達が話し合いながら授業をしている姿を見て、先生だけでなく子供達も目標を理解し、学校全体で取り組んでいるように感じた。 ・どの学年も伸び伸びと大きな声ではっきり発表する等、学年相応に授業に臨んでいた。 ・来年度よりコミュニティースクールになるが、しっかり連携をとっていきたい。

※ 評価は、A(とても適切)、B(概ね適切)、C(あまり適切でない)、D(まったく適切でない)、N(分からない)

学校関係者評価を受けての今後の改善策	・目標、指標の設定については適切であるという評価であった。今年度の成果と課題を受けて、来年度は指標を見直していく。 ・目標達成のための方策、自己評価の結果の分析についても、適切であるとの評価であった。メディアの使用等生活のリズムについては、今後とも家庭との連携や啓発を継続する。 ・今後の改善策(案)については、来年度、児童の実態を踏まえ、取組をさらに効果的なものにしていく。 ・引き続き、宮原小サークルトークを授業に取り入れ、協働する場を意識した授業改善に努める。
--------------------	--